

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 森 朝征)は去る8月29日(水)から9月5日(水)にかけて平成24年度ノリ着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、ノリ養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度も県内3地区で開催し、ノリ養殖業者並びに漁業関係者が出席した。



挨拶する森会長

- 8月29日(水) 小豆地区
オーキドホテル
- 8月31日(金) 高松・中讃地区
漁連会館
- 9月5日(木) 東讃地区
ベッセルおおち

検討会では「平成24年度ノリ養殖指導指針について」、「平成24年度酸処理剤取り扱い要領について」、「平成24年度水温・栄養塩の動向について」その他として、「(初)等級について」、「爆音機改良試験について」の説明が行われた。

本県のノリ養殖業は「ノリ養殖基本方針」並びに「ノリ養殖指導指針」に基づき生産性の向上、経営の安定化を図ってきたが、近年の色落ちや生理障害等が多発し、優良ノリの生産に大きな影響を及ぼしている。またクロダイ等による食害被害も多大であることから、対策として爆音機を使用した威嚇対策も講じられており、水産試験場から説明された爆音

機改良試験の説明を熱心に聴き入っていた。検討会終了後各会場において「乾ノリ消費動向について」、「香川県産乾ノリの評価・改善点について」をテーマにそれぞれ講演が行われた。

「小豆地区」

講師 茨木海苔(株)代表取締役 岡本善男氏

「高松・中讃地区」

講師 (株)白子 仕入担当課長 島 律夫氏

「東讃地区」

講師 小浅商事(株)大阪支店長 水島 康氏



高松・中讃地区(株)白子 島仕入担当課長の講演

第2回さぬき海の幸販売促進協議会

第2回さぬき海の幸販売促進協議会が9月12日(水)に開催された。会議では7月9日に選ばれた「香川おさかな大使」片岡安奈さん、谷 美香さんに服部会長より委嘱状が渡された。



(左) 片岡安奈さん、(右) 谷 美香さん
大使としての活動はすでに始まっており、「香川

のおいしい魚を、多くの人に知ってもらえるように努力したい。」と抱負を語った。(もう1人のおさかな大使北原公美さんは授業により欠席。)

また、平成24年度事業計画等について協議され、平成19・20年度の「ハマチ養殖80周年記念事業」、平成21・22・23年度の「さぬき海の幸販売促進事業」によって培ったノウハウを活用し、昨年度に引き続いて「さぬき海の幸販売促進事業」に取り組み、ハマチ、ノリ、イリコをはじめ、ナシフグ、タコ、サワラ等の県内水産物の消費拡大、知名度向上を一層推進するため、各種イベントに参画して効果的にPRを行うこととなった。

各事務局より本年度の活動計画概要が下記の通り報告された。

総務・食育グループ「PR イベント事業」

ハマチ・ノリ・イリコをはじめ、フグ、タコ、サワラなどの県産水産物の消費拡大、知名度UPを一層推進するため、各種イベントに参画してPRを行う。

イベントについては、イベントの趣旨、参加条件等を検討のうえ、PR効果が高いと考えられるものに参加する。

- 10月28日 たかまつ市場フェスタ
- 11月 3日 中讃 秋のぴちぴちとれたて市
- 11月23日 食の大博覧会
- 12月 9日 観音寺三豊おさかな市

総務・食育グループ「水産食育事業」

県産水産物の販売促進や一般家庭で活用できる家庭地魚料理の普及のため、ハマチ、イリコ、ノリ、カキ、マダイ、サワラ等を食材とした水産食育教室等を開催するとともに、県産水産物を紹介するテキストを作成し、おいしさや料理法を情報発信する。

《水産食育教室》

- 10月24日 石田高校
- 11月 香川大学
- 12月 6日 丸亀市健康講座
- 12月12日 多度津高校

ハマチグループ「ハマチ等ブランド化事業」

ブランドハマチのさらなる普及と、商流の明確化などによる、県水産物のブランド化の推進、ブランドイメージの確立。

ハマチグループ「県内・近県フェア事業」

県内、及び近県で「県産ハマチ」を中心に県産水産物の消費拡大を目的とした販売促進フェアの実施、及び県内業者向け料理等への提案。

県内 10月～1月 県内協力量販店、百貨店等で店頭フェア実施。

さぬき蛸の試食販売、讃岐でんぶく試食販売。

近県(中四国)

岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県等においてハマチ3兄弟の販売促進フェアの実施。

ハマチグループ「県外フェア事業」

県産ブランドハマチを中心とした県産水産物の、県外での消費拡大を目的とした販売促進フェア等を実施する。

県産ブランドハマチフェア

- 10月 6日 東信水産(本社)
- 10月19日 イオン阪神野田店、洛南店
- 10月21日 柏市場まつり
- 11月10日 丸広百貨店
- 11月11日 マルエツ横浜 井土ヶ谷店

ハマチグループ「ハマチハンター事業」

ブランドハマチのさらなる普及を図るため、好評であったイベント「ハマチハンター選手権大会」「親子つかみ取り大会」を開催し、県内外に県産ハマチをPRする。

- 10月 8日 ハマチハンター選手権大会
- 10月 8日 親子ハマチつかみ取り大会

ハマチグループ「流通懇談会事業」

水産物の大消費地である首都圏及び京阪神地区で「県産ブランドハマチ」を中心とした県産水産物の消費拡大を目的に香川県知事を筆頭とした懇談会を開催し、本県水産関係者と当地の卸売市場及び量販店関係者が意見の交換を行う。

また、懇談会に先立って、香川おさかな大使による市場キャラバンを行う。

ノリ・イリコグループ「香川ノリPR事業」

香川県産ノリの販売促進と、消費者の知名度向上、生産技術の一層の向上を図るため、①初摘みノリ香川県産ノリ認証制度の充実及び認証商品の販売促進、②新ノリ祭りの開催、③香川産ノリのPRイベントの開催、④品評会の実施等、各種の取組みを行う。

- 11月 ノリ消費拡大PRイベント
- 1月下旬 新ノリ祭り
- 2月 香川県産ノリ品評会

ノリ・イリコグループ「イリコブランド化・商品開発事業」

地域団体商標(地域ブランド)として登録された「伊吹いりこ」の知名度向上を目指した活動を実施するとともに、商標等の管理にかかる指導を行う。

また、県産イリコの消費拡大を図るため、関係団体と連携した取組みや、新たな商品の開発を行う。

- 11月10日 実りのフェスティバル
- 11月11日 実りのフェスティバル
- 12月 9日 観音寺・伊吹いりこ祭り

ライフジャケットの着用率向上へ！

7月28日(土)、土庄町の四海漁協(長栄保組合長)において、組合員他58名の参加を得てライフジャケット着用推進講習会が開催された。ライフジャケットの着用については、「作業時邪魔になる」「夏場の着用は暑い」などの理由から、着用が義務付けられている一人乗り漁船でも、着用していないケースもあることが県漁連などの調査でわかっており、漁業操業の安全確保の観点から、県漁連、水産振興協会が、県、海上保安部、ライフガードレディーズかがわ等の協力を得て、着用推進に取り組んでいる。



四海漁協での説明会

この日は、四海漁協2階会議室で小豆島海上保安署の加茂署員から「ライフジャケットの着用等について」、県漁連購買事業部資材課の瀧岡課長から「膨張式ライフジャケットの作動体験及び、メンテナンスについて」の講義を受けた。



ライフジャケットを試してみよう

その後、会場を四海漁港に移し、各種膨張式ライフジャケットを着用して栈橋からの海中転落実験を行った。海中転落の体験者は、まずベルトや作動索を確認した後、保安署員の指導のもと正しくジャケットを着用し、栈橋から豪快に転落した。あらかじめ

め点検済みのライフジャケットは、瞬く間に膨張し、転落者が安全を確保した後、組合員により救命浮環で救助された。体験した組合員は「海面に浮いてさえいれば、救助もしてくれるし、どうにかなる。常時着用をしなければならないことを痛感した」と感想を述べていた。

10月を迎え、秋漁や海苔養殖作業等が本格化してきます。今一度ライフジャケット常時着用について認識していただくとともに、日常のメンテナンスも合わせてお願いします。

ライフジャケットについてのお問い合わせは、香川県漁連購買事業部資材課までお願いします。

タイラギ貝を全国へPR

キリンビールが全国で展開する、「選ぼうニッポンのうまい! 2012」のプレゼントキャンペーン香川県版の記者発表が、浜田香川県知事、原香川県漁連専務、キリンビールマーケティング(株)香川支社山神支社長が出席し9月13日(木)高松市兵庫町の天勝本店で行われた。

香川県では、昨年の讃岐でんぶくに続き今年度はタイラギ貝がピックアップされた。キリン対象商品に付いている応募券6枚を1口として応募すると、タイラギ貝の「貝柱のみそ漬けと一夜干し」が全国で1,000人の方に当たる。応募期限は10月31日(水)まで当日消印有効。

記者発表当日は、おさかな大使の片岡さんと北原さんが、会場内にてタイラギ貝のみそ漬けや讃岐でんぶくのでっさの美味しさをPRしていた。

また、キリンビールのホームページではタイラギ貝をPRする片岡さんを見ることができる。

善意をありがとう

(財)漁船海難遺児育英会に下記の方からご寄付をいただきました。ご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

香川県漁業共済組合 調査役 大坪和清 様

主な行事予定(10/1~10/31)

- 10月 8日(月) ハマチハンター選手権
- 10日(水) 平成25年度県予算要望
- 12日(金) 海苔関係組合長・海苔研委員会合同会議
- 21日(日) 国際協同組合同年「協同組合フェスティバル」
- 25日(木) 全国漁港漁場大会
- 28日(日) たかまつ市場フェスタ



こんにちは、坂出税関です

☆「薬物及び銃器取締強化期間」に伴うご協力のお願い☆

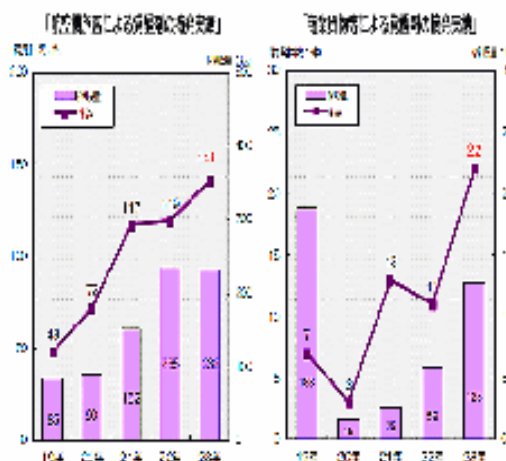
神戸税関坂出税関支署では、平成24年10月1日から10月31日の間、関係取締機関と連携して、不正薬物や銃器に対する重点的・効果的な取締りを実施します。日常業務等において、「おかしげな？」と思うことがありましたら、どんな小さな情報でも、坂出税関支署、又は最寄りの税関出張所、若しくは24時間対応の密輸フリーダイヤル(0120-461-961)まで通報していただきますようご協力をお願いします。皆様からの小さな情報ひとつひとつが、香川県の安全につながります。

『おかしげな?』と思われる例

- ・漁具を積まずに出港したり、シケの日や夜間に出入りする等不審な行動をとる船舶を見かけたとき
- ・何か貨物が入っているような漂流物・漂着物を見つけたとき
- ・外国の船と頻繁に無線で交信をとっているあるいは沖合に向かって信号を送っている船を見かけたとき



☆平成23年の税関における不正薬物摘発実績☆



○覚醒剤の摘発件数が過去最高！

平成23年の1年間に全国の税関が空港や港湾等において、密輸を摘発した主な不正薬物の件数は326件でした。また、覚醒剤等粉末薬物の押収量は約509kg、MDMA等錠剤型薬物の押収量は約2万錠でした。なかでも覚醒剤の摘発件数は過去最高の185件であり、押収量は約402kgで旅客の体内隠匿など密輸手口は悪質巧妙になっております。神戸税関では昨年11月、岡山港において貨物船の乗組員等から覚醒剤約3kgを摘発しております。

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

密輸フリーダイヤル0120-461-961(24時間365日受付)

【坂出税関支署】 0877-44-9211 坂出市入船町1-6-10

【高松出張所】 087-851-2874 高松市朝日新町1-30

【丸亀出張所】 0877-23-7696 丸亀市蓮葉町32-1

【詫間出張所】 0875-83-3071 三豊市詫間町詫間1328-9